



バングラデシュ

【スタートアップビジネス】コンペティション・リスト1

調査日と場所: 2016年5月[ダッカ] 為替レート: BDT 0.71 = JPY 1 [出典: バングラデシュ銀行(2016年6月1日)]

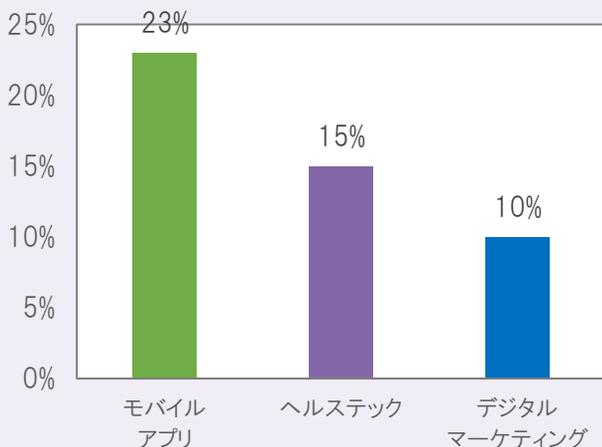
バングラデシュのスタートアップ・エコシステムの概要

ダッカのスタートアップ・エコシステムは2013年頃より、ビジネス・インキュベーションサービスの開始、国内外のベンチャーキャピタル企業との協業、ブートキャンプ(トレーニング)の開催、スタートアップ関連のイベントの開催により本格的に構築され始めている。政策上の支援や関係機関との協業、包括的なインフラ、経験、それぞれの面においてまだ不足しているところはある。また、投資家とスタートアップ企業の間には投資に対する理解および評価の面で大きな隔たりが存在することも指摘されている。まだ未熟な市場であるが、官民双方の支援により急速に成長している。

2015年6月、バングラデシュ証券取引委員会(BSEC)は、「2015年のバングラデシュ証券取引委員会規則」というプライベート・エクイティ(未公開株)およびベンチャーキャピタル企業向けの新しい規則を発表した。この規則は、エクイティファイナンス向けの資金をどのように創出し、管理すべきかについての手引きである。スタートアップの動きを支援する企業は、海外の機関と協力しながら、スタートアップ企業と投資家のプラットフォームを構築し、ロードマップの作成を通じた投資家の支援、専任かつ適任のメンターシップ制度を通じたスタートアップ企業の支援に取り組んでいる。

バングラデシュのスタートアップの概要

(図1) スタートアップの上位3の主要分野

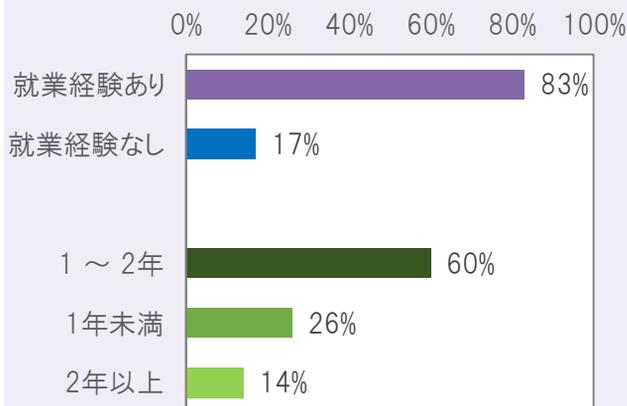


出典: SD ASIA, 2015

SD Asiaによると、バングラデシュで最も人気のあるスタートアップの分野は、ウェブとモバイルのアプリケーション(約23%)、ヘルステック(約15%)、デジタルマーケティング(約10%)である。

また、数名のスタートアップ支援者へのインタビューからは、eコマース(モバイルアプリケーションベースを含む)およびfコマース(フェイスブック)のスタートアップが最も人気の高いセクターであることがわかった。健康、教育、金融、農業関連のスタートアップは、主に既存市場との連携、いかにサービスを届けるかのメカニズムの構築を目指しており、分野は多岐に渡りつつある。

(図2) スタートアップ創業者の就業有無・設立期間



出典: SD ASIA, 2015

スタートアップビジネスの創業者の約83%は、過去に就業経験を有しており、うち約57%は過去にもスタートアップを創設した経験の持ち主である。

もうひとつの特徴は、約60%は創業1~2年であり、約26%は設立1年未満であることである。

ビジネスを立ち上げる上位3つの理由は、情熱、機会の獲得、そして独立である。また、特にダッカでは、若者に対し、起業することは人気のキャリア選択のひとつとなりつつあることを宣伝することが流行となっている。

Connecting Startups Bangladesh(CSB)

政府初の スタートアップ・インキュベーション・コンペティション

- 期 間：2015年10月(初回)
- 主 催：ICT Division、Bangladesh Hi-Tech Park Authority
- 実施機関： Bangladesh Hi-Tech Park Authority、Bangladesh Association of Software and Information Services (BASIS)、Bangladesh Computer Council (BCC)
- パートナー： International Fenox Venture Capital、Global Ascent Partners、Kizki、Bangla link
- 場 所： BCC Auditorium(ダッカ)



Bangladesh政府は、民間企業によるスタートアップ・ビジネスの動きを受け、2021年までに1,000を超えるスタートアップを創出し、国内のスタートアップのエコシステムを構築することを目指している。政府は、国際的なアクセラレータ/投資家/ベンチャーキャピタル(VC)/産業界のエキスパートを結びつけ、技術的/理論的/法的支援を提供することによって、スタートアップを支援するCSBを立ち上げた。

□ 主催者のプロフィール

ICT Division	ICT Divisionは、2021年までにBangladeshを後発開発途上国から中所得国へ成長させることを目的とした「Vision 2021: Digital Bangladesh」達成のために設立された。現在の主な取り組みは以下のとおりである； <ul style="list-style-type: none">・情報技術へのユニバーサルアクセスを達成するための開発・ICT関連の政策、ガイドラインの策定と更新・ICT関連の調査・研究、プロモーション活動、ICTサービスの商業化に向けた取り組み等。
Bangladesh Hi-Tech Park Authority (BHTPA)	BHTPAは、2010年にBangladesh全土にハイテクパークを設立し、管理・運営するために設立された。ハイテクパークは、ニーズ・ベースの産業開発を可能とするためのインフラを整備するために開発されている。
Bangladesh Computer Council (BCC) 	BCCは、Ministry of Posts, Telecommunications and Information Technology (MoPTIT)傘下の政府機関である。BCCの主な取り組みには以下がある； <ul style="list-style-type: none">・ICT関連活動の奨励と支援の提供・国のICT戦略と政策の策定・必要に応じた政府組織のICTツールの標準と仕様の作成・ICT分野における人材育成 等
Bangladesh Association of Software and Information Services (BASIS) 	BASIS はBangladeshのソフトウェアおよびICT産業にかかる貿易部隊であり、100を超える加盟企業で構成されている。Bangladesh政府がビジョンのひとつとして掲げるソフトウェア&ITサービス産業の発展のため、国内市場の発展のための広範囲なプログラム、加盟企業・産業の能力強化、企業にとってビジネスのしやすい環境を整えるための政策の提言などを行っている。
Global Ascent Partners (GAP)	Global Ascent Partners (GAP)は、企業や起業家は、創業の第1日目からグローバルに考え、行動する必要があるという創業者たちの経験によって推進されている。企業は規模にかかわらず、新しい場所や文化で創業する際には、成長のチャンスと競合との競争に直面する。中小企業や大企業が世界に進出していくのを支援し、最新かつ適切なスタートアップ技術に結びつけることで、成功のチャンスは広がる。GAPは、米国、日本、中国、イスラエル、チリで活動しており、数多くの新興国でその実績を残している。GAPは主に4つのプラットフォーム；コンサルティング、ビジネス開発、アクセラレータ&テックパークおよび投資ファンドを有し、活動している。

コンペティションの概要

□ コンペティションの歴史

第1回大会は2015年10月18日に開催された。2ヶ月という短い募集期間に、成長ステージのスタートアップの応募者が123件とアイデアベースの応募者が324件あった。現在、CSBIはIT関連のスタートアップ起業家のための最大のプラットフォームの1つである。若手世代にとっての新しいキャリアのひとつとして奨励するために、CSBIはDhaka大学、Brac大学、Rajshahi大学などの様々な大学でセミナーを行っている。将来的には、同様のプログラムを定期的を実施し、トップ50を選択し、アクセラレータプログラムをビジネスとして提供する予定である。また、「ITおよびハードウェアエンジニアリングの大学生向けに「イノベーション設計と起業家精神アカデミー」を主催する計画を立てている。イノベティブな製品を持っている学生がこれに応募することができ、主催者が商業化の支援を行う。

□ 参加者

参加者は、①アイデアステージの段階並びに②成長ステージの段階の2種類がある。アイデアステージは、個人やチームがビジネスに転換できるアイデアを有しているものの、まだ具体化していない段階である。成長ステージは、起業家がすでにアイデアを具現化し、提供できる製品またはサービスにしている段階である。起業家は、スケールアップのための資金およびその他の支援を必要としている。

スタートアップは設立2年以内で、資本金5,000ドル以下でなければならない。また、何らかの形でITツールを使用していなければならない。

□ 賞品

上位10のスタートアップ(各カテゴリの上位5)には、ダッカのJanata Tower(現在建設中、2016年7月オープン予定)のオフィススペースが無償で提供されるのに加え、1年間のメンターシップおよびアクセラレータのサポートが無料で提供される。BASISがトレーニングを提供し、コースを編成し、必要なエンジニア/開発者へ結びつける。その他の上位40のスタートアップには、共同のワーキングスペースと3ヶ月間のアクセラレータサポートが提供される。BASISは高額なファンドは提供しないが、投資家と結びつくチャンスを提供している。投資する資金の額については投資家自身が決定する。

□ 選抜の基準

重要な選抜基準は、そのスタートアップが素晴らしいアイデアを有しており、それが発展し、現地で成功し、世界でも同様に成功する可能性を秘めていることである。CSBIは製品イノベーションのグローバルリーダーに育て上げることを目標にしている。またCSBIは、素晴らしいアイデアを持っているものの、ビジネスに苦戦している中小規模のスタートアップのサポートに焦点を当てている。

□ 受賞者

第1回大会では、アイデアステージの上位25のチームと成長ステージの上位25の企業が選ばれた。現在、主催者は、それらのスタートアップを育てるためにいくつかのトレーニングサービスを提供している。ワーキングスペースの準備が整い次第、仕事をするために彼らを招き入れ、アクセラレータプログラムを提供することになっている。その後、CSBIは上位10のスタートアップを選択することになっている。

GP Accelerator

ハングラデシュ初の アクセラレータプログラム

- 期 間：2016年2月7日(第1回目バッチ)
- 主 催：Grameenphone、SD ASIA
- スポンサー：Grameenphone
- 場 所：Grameenphone house(ダッカ)



GP Accelerator のイベントは Bangladesh の ICT スタートアップのための開発プラットフォームである。Grameenphone (GP) と SD ASIA が、上位5のスタートアップ候補者を選び、4ヶ月のブートキャンプを実施する。シードマネーと広範なアクセラレータプログラムと、ビジネスを成長させるためのリソースを提供する。このイベントの目的は、地元のスタートアップ起業家が成功し、スケールアップすることを支援することである。プログラムの最終日には、デモ・デーにて、自社の製品やサービスを紹介するチャンスを得ることができる。

□ 主催者:Grameenphone、SD ASIA(6頁参照)

*Grameenphoneについて: Bangladesh 最大の通信事業者であり、Bangladesh で約43%の市場シェアを有している(2016年4月、BTRC)。Grameenphoneは、Bangladesh の才能豊かな起業家候補から物事のデジタル化の手法を学ぶ機会を期待している。

□ 履 歴

第1回目のバッチは2016年2月7日に開催され、第2回目のバッチは2016年8月に開催される予定である。Telenor Groupは、これまでに複数カ国でアクセラレータプログラムを開催したことがあり、Telenor Groupの傘下であるGPが、今般SD ASIAと共同し、初めて Bangladesh でアクセラレータプログラムを実施した。Telenor Groupにとっても初の共同アクセラレータプログラムである。Telenor Groupは、年に10チームのアクセラレータプログラムを開催できないか、企画している。

□ 参加者

スタートアップの要件は、アーリーステージのスタートアップであることおよび Bangladesh で法人格を取得していることである。技術系のスタートアップであり、自社の製品またはサービスであることが要件である(大企業の製品・サービスを活用したモデルは対象とならない)。スタートアップは最低2名の共同創業者と最低1名の常勤の共同創業者がいなければならない。

□ 賞 品

勝者は4ヶ月のブートキャンプに参加できる。選ばれた各スタートアップは、GPハウスでのワークスペース、170万タカのシード資金(*)、メンターシップのサポートのほか、プログラムの最後にデモ・デーに参加することができる。デモ・デーでは、自社の製品またはサービスを潜在的な投資家、消費者にプレゼンテーションをすることができる。また、無料のツールやサービスにアクセスできるFbStart(フェイスブック)パッケージが供与される。(*)シード資金は2回に分けて支給される。最初の半分はスタートアップがプログラムに受け入れられた後に口座に入金され、残りの資金はデモ・デーを無事に終了した後に入金される。

□ 選 抜 の 基 準

4回の選抜が実施される。主催者は、まず各スタートアップがアクセラレータのリソースを有効活用できるか、応募者の実行能力、ビジネスの強みの観点から書類審査を行う。2番目にコミュニケーションのスキルを確認する。電話をかけるなど独自の審査を行っている。3番目に直接インタビューを行い、応募者が自分のアイデアを自分の言葉で話し、説明する能力を確認する。最後に、総合的な評価に基づき、各審査員が最も潜在性があると評価されたものが選び抜かれる。

□ TOP 5受賞者

受賞者名	分野	概要
Kandy	モバイル	<ul style="list-style-type: none"> モバイルロック画面でデジタル広告掲示板を作成するパーソナライゼーションモバイルアプリケーション。 ユーザーの必要なコンテンツを配信する;お気に入りのニュース、所在地に関連したオファーや割引情報(食品、レストラン、ファッション、銀行など異なる分野)の他、ブランドパートナーや携帯電話通信会社からの広告も配信される)。 現在、サービスエリアはダッカのユーザのみだが、他国にサービスを拡張することを目指している。
Share Inc	輸送 (カープール/ ライドシェアリング)	<ul style="list-style-type: none"> ユーザが安全にカープールでき、かつ時間とお金を節約することを支援するカープールアプリケーション。 ユーザがどこに行くかという場所と時間を設定すると、近くで相乗りできる車両を見つけることができる。 アプリケーションを通じてドライビングパートナーの慎重なスクリーニングと車両追跡サービスによって、特に女性にとって安全な輸送ソリューションを確保している。また、朝夕の通勤シャトルサービスもダッカの固定経路で提供しており、今後は首都圏の他の地域をカバーすることを目指している。
Ennovision	ウェブ	<ul style="list-style-type: none"> Ennovision Limitedは、ウェブデザイン会社であり、バングラデシュの伝統的なウェブサイトを、商品やサービスを美しく、ユーザーフレンドリーに配置し、体裁を整えることで世界に発信できるサイトづくりを目指している。 バングラデシュでは、ウェブサイトを作成するにはデザイン会社、設計会社、コンサルタント会社など、3つの個別の企業に委託する必要があった。Ennovisionは、デザイン、設計、マーケティング、コンサルテーションのワンストップソリューションの提供を目指している。
Sheba	家庭用	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の問題を解決するためのサービスプラットフォーム 電気、配管、掃除、洗濯、害虫駆除、車サービス、コンピュータまたはモバイルサービス、エレベーター/発電機の保守など、様々なサービスのためのワンストップソリューションを提供する。 SHEBAのプラットフォームで提供されるサービスはすべて、高度なスキルを持ち、その人材はSHEBA独自の品質管理チームによって検証されている。SHEBAの今後の計画は、大企業やスタートアップを対象に、忙しくて時間のない人や迅速なロジスティックサービスを必要とする層へのサービス提供である。
Repto Education Center	教育	<ul style="list-style-type: none"> オンラインコースのマーケットプレイス 誰でもがコースを作成し、販売することができる。また、誰でもがこのプラットフォームで好きなことを学ぶことができ、先駆的なコースを修了し、検証可能な証明書を取得することもできる。 コンピュータサイエンス、ソフトウェア開発、グラフィックデザイン、ビジネスなど、有料または無料のコースが揃っている。現在、異なるカテゴリーのコース数を増やすための取り組みを行っている。

Innovation Xtream (IX)

Bangladeshのイノベータ候補と起業家候補の最大のショーケースイベント

- 期 間：2016年3月19日(直近の開催)
- 主 催：SD ASIA
- 後 援：Grameenphone
- パートナー：ゴールド Microsoft、シルバー topofmind、IPDC
他 Facebook、TECHINASIA、Ittefaq
- 場 所：Radisson Blu Water Garden Hotel (ダッカ)



IXイベントの目的は、ともに起業家のエコシステム全体を作りあげることである。このイベントは、Bangladeshの潜在的なイノベータと起業家を紹介するため、投資家、経験豊かな起業家、企業のエキスパートおよびメディアなどを呼んでいる。IXは、投資、スケールアップ、知識やその他、ビジネスのあらゆる段階で必要となるものを提供することができるよう目指すものである。



主催者のプロフィール

SD ASIAのサイト - アジア発のスタートアップ・ニュース

SD Asiaは、Bangladeshのスタートアップに関するあらゆる事柄の拠点(ハブ)として知られている。SD Asiaは、2013年、世界各地から9,000ドルを超える資金をクラウドファンディングによって調達した「Startup Dhaka」というドキュメンタリ映画から始まった。この映画は、スタートアップの創業者、投資家、メンターの経験と将来のビジョンについて語ったものである。この映画は好意的に受け入れられ、Bangladeshのスタートアップ企業を勇気づけた。その後、地元のスタートアップビジネスや革新的なアイデアを促進するためのオンラインコンテンツのサイトを立ち上げた。また、ネットワーキング、投資家のマッチングセッション、スタートアップのピッチ・セッションのプロモーションとして使われたいくつかのイベントを主催した他、スタートアップの発展をサポートするための共同ワーキングスペースの提供を行っている。

【過去の企画イベント】Innovation Xtreme、Grameenphone Demo Day、Gist Bootcamp、DigiBuzz、the latest 12 Week Bootcamp & Demo Dayがある。

コンペティションの概要

コンペティションの歴史

IXイベントは、2014年に始まった。コンセプトは、「Innovation in Bangladesh」であり、4つの主要なベンチャーのサクセスストーリーを紹介し、Bangladeshの応募者から上位10のスタートアップを選び出した。これら10のスタートアップはベンチャーキャピタルと審査員の前でプレゼンを行い、最終的に上位3のスタートアップ(Dam.com、Bongo、ZuumZuum)が選ばれた。

2016年には、ネットワーキングに焦点を当てた第2回IXイベントを開催。300人を超える参加者が、3時間以上のネットワーキングを通じ、チャンスを最大限に活用したほか、自社の商品についてエキスパートと掘り下げて話し合った。スタートアップは26が参加し、そのうち上位6のスタートアップが勝者に選出された。スタートアップのブースでは、スタートアップの製品やサービスが参加者に紹介され、商談のためのミーティングコーナーやキャリアのためのタレントパビリオンも設置された。近い将来には、スリランカ、ネパール、ミャンマー、ベトナムなどの地域の起業家のプラットフォームになることを目指している。

□ 参加者

スタートアップの要件は設立5年未満であること、チームの規模は100人未満であること、また年収は3,000万タカ未満でなければならない。

□ 賞品

MicrosoftのBizSpark / YouthSparkパッケージ(10,000ドル相当)とFbStartパッケージ。FBStartのメンバーは、無料のツールおよびサービスを利用することができ、それにはFacebookクレジットから、Adobe、GitHub、Hootsuite、MailChimp、UserTestingなど23の異なるサードパーティーパートナーによる無料のツールおよびサービスが含まれる。選抜の基準は、GP Acceleratorと同様のプロセスである。

□ 上位6のスタートアップの受賞者

受賞者名	分野	概要
Tripooly	旅行	<ul style="list-style-type: none">オンラインの旅行代理店およびツアーオペレーター。約20社の旅行代理店が取り扱うトラベルパッケージから選択できるようにしている。旅行のためのワンストップサービスの提供を目指している。顧客は、異なるタイプの旅行パッケージを異なる目的、価格で比較することができ、さらにビザの手配の支援も得ることができる。目標は、この地域の新興市場を最大に活用し、強力な休暇体験を提供することである。SD ASIAが投資している。
Let's Eat!	食品 (レストラン)	<ul style="list-style-type: none">バングラデシュで2015年にMCC Ltd.が立ち上げたレストラン・ディレクトリ(MCC Ltd.は、主要モバイルアプリケーション企業の1つ)。ユーザーは、ディレクトリとしてのみならず、バングラデシュ全国での価格、料理を比較し、先行予約をすることができる。ユーザはまた、個人プロフィールを作成し、写真、ステータス、および自らの食の経験についてのコメントをアップロードすることができる。Let's Eat!は、いくつかの国でレストランのリストをリリースする予定であり、世界最大のレストランのディレクトリになることを目指している。
LightCastle Data	コンサルタント	<ul style="list-style-type: none">企業がリアルタイムにバングラデシュでの市場調査を行うことができる初のオンライン自立型調査プラットフォーム。ユーザは、調査を設計する際に、多くのサンプルテンプレートの中から選択できる他、自分で作成することもできる。回答者を選択し、結果を分析し、また属性分析を行うことも可能である。1年間で国際的な組織を含む45以上の顧客と協業した。企業活動と消費者の声が結びつき、より豊かなコミュニティを構築するために協力し合う世界を目指している。SD ASIAが投資している。
CHALO	輸送 (配車サービス)	<ul style="list-style-type: none">乗り手とCHALOの運転手を結びつけるモバイルアプリケーション。ユーザが乗車を要請すると、近くのドライバーが10分後に迎えに来る。乗り手は、クレジット/デビットカードおよびbKashで料金を支払うことができ、サービスのフィードバックを提供し、ドライバーのレビューを提供し、地図上で車の位置を確認することなどができる。CHALO Technologies Ltd.は、米国カリフォルニア州サンフランシスコのDesh Ventures Inc.(シリコンバレーのベンチャー企業)と関係がある。

上記の他、ShebaおよびReptoが選ばれた。両者の会社情報は、5頁と同様。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。